

執筆 公益財団法人ハイライフ研究所

半(昭和16年~)

生活意識調査を実施、年~昭和40年生まれ)の男女を対に齢者研究の一環として50代から70

人ハイライフ研究所では、

福與宜治 主任研究員 象に生活行動、生代前半(昭和16年) みの生活史」を「時層」と名づけた上で、次世代シニ その続編ともいえる今回のシリー

ムを連載してまいりました。

自由回答形式にて収集した「人生の各時期の楽し

ズは、同

アと現在形シニア、その意識と行動」と題したコラ その調査結果に研究員の視点を交え「次世代シニ

②現在形シニア 1956年~1965年生まれ(調査時

①次世代シニア 次世代シニアと現在形シニアの定義

者」として感じた生きるためのヒントなども添えて 1941年~1950年生まれ(調査時66 前の連載同様「仮説的」な読み解きや、「一生活 ſ 75 歳

いきたいと考えています。ぜひご一読下さい。

公益財団法人ハイライフ研究所

在形シニアとの違いにも注目してまいりたいと思 りする次世代シニアの「時層」から浮かび上がる現 そこから培われた価値観や幸福観を探ってまいり アにみる「世代の共通体験や個人史」に焦点を当て

2020年を過ぎる頃から高齢者の仲間入

- <ハイライフ研究所「次世代高齢者調査」調査概要>
- ①調査対象 東京30km圏に居住する満51歳~75歳の男女

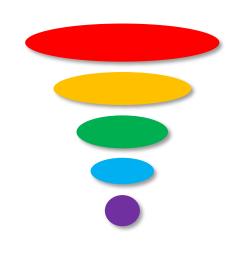
51

ſ

60 歳

- ②標本数(有効回収数)500 51~55歳.56~60歳.61~65歳.66~70歳.71~75歳 男女計各100
- ③標本抽出法 エリアサンプリング法 ④調査方法 留置法(訪問調査) ⑤調査時期 平成28年10月~11月

次世代シニア楽しみの時層



第7回 「楽しみの時層」 n=1の世界② 次世代シニア・男性編

第七回「楽しみの時層」n=1の世界②

第一回から第五回まで、次世代高齢者調査の自由回答を元に「エンタメ」「趣味とスポーツ・旅行」「食べ 物・飲み物・飲食店」「街と店・飲食店」「ファッション」を通じて「楽しみの時層」を辿ってまいりました。 第六回からは「楽しみの時層」と次世代高齢者調査で得た現在(調査時点)の「生活意識」を掛け合わせて、 次世代シニアの気持ちに迫る試みをお届けしています。題して「楽しみの時層· n = 1 の世界」n=1は調査標本= 1を意味します。アプローチ方法は以下の通りです。

<狙い>

- ①次世代高齢者調査では生活者の生活の『幹』を構成する要素「家族・仕事・健康・人付き合い・楽しみ・家計」と「老後観」、 「幸福感」について『現在』の意識と実態を把握しています。この「生活の幹に関わる現在の意識・実態」を<縦軸>とします。
- ②一方、自由回答では過去から現在に至る「好きだったこと・楽しかったこと」を「エンタメ」「ファッション」など、一見「枝葉」と思 える、されどその人の個性や嗜好、人生の彩りが浮き彫りになるような分野に限定して収集しました。この「人の生活史を彩 る好みの変遷(時層)」を<横軸>とします。
- ③本来、次世代高齢者調査は定量調査ですが、上記の<縦軸>と<横軸>を掛け合わせることで量的には測れないリアル な次世代シニアの実像=「あるひとりの人物の横顔」を浮き彫りにできないかと考えました。
- ④ではそれを浮き彫りにして何の役にたつのでしょう。 「あるひとりの人物の横顔」から「その人の将来に思いを馳せる」という行為 を通じて同世代の人たちが自らの将来を考えるヒントがみつかるとの仮説をたてました。 「次世代シニアがその加齢に伴い変わりゆくこれからを楽しく幸せに生きるために」「他者の人生に対する想像力」を働かせ、 巡り巡って「自分の人生に対する構想力」に磨きをかける。この事例研究がそんな契機になればよいと考えております。

<アプローチ>

- ①次世代高齢者調査対象の中から「自由回答」の情報量(各年代・各分野の網羅性など)を満たし、且つ現在を「幸せ」と感じ ている人を抽出しました。前者は今回の試みの必要条件を満たす為、後者は「幸せ」のツボを探索する為の選択です。
- ②アプローチのステップは以下の通りです。
 - 【STEP1】 対象者の次世代高齢者調査への回答をベースに、個人情報に配慮しながら仮想の人物像「ペルソナ」を作成。 ※「ペルソナ」=マーケティング手法のひとつ。提供する商品・サービスの顧客像を仮想の人物として具体的に定義、その 人物の価値観に基づき商品開発や広告開発を行う。

【STEP2】「ペルソナ」に「楽しみの時層」の回答を重ね、想像を働かせながら両者の関連性を推量します。

【STEP3】以上のアプローチから「人物の価値観」と将来について推量し「将来を考えるヒント」を整理します。

※この人物像は次世代シニアを代表するものではありません。毎回、複数の人物を取上げ、比較も交えながら解説を加えて まいります。

現在の意識・実態

家族









楽しみの時層

ファッション エンタメ 趣味・・・ペルソナ







「人物の価値観と今後(推量)」「将来を考えるヒント」





1. 「楽しみの時層」n=1の世界②次世代シニア・男性 Nさん

くペルソナ・シート(プロフィール)>※調査回答を元に仮想の人物像を創作しました(実在はしません)

※注①調査対象者の在住地域は東京30km圏です。 注②年齢は調査時点の2016年基準としました。

次世代シ	ニア男性・	ペルソナシ	′一ト【幸せ度	を まあ幸	┊せ・ あまり幸せ [∵]	でない・幸t	せでない
ペルソナNo.	Noth	性別・年齢	男性・52歳 1964年生まれ	職業	サービス系従事 正規社員 週5日 1日8時間以上	配偶者有無	有
同居家族構成	妻・息子2人 持ち家・一戸建	1年•世帯収入	850万円	世帯資産	400万円 不動産3千万円	最終学歴	高校
生活満足度	4段階評価→ 満足している(4)・まあ満足している(3)・やや不満である(2)・不満である(1) 健康(4)・家庭 家族(3)・家計 経済状態(3)・人との交流(4)・趣味 楽しみ(4)・仕事(3)						
生活不安度			・やや不安を感じる・家計 経済状態(
幸せを感じる時	気から治った時	〇お金が増えた時 時、趣味の活動を	れた時、食べ物やお 〇仕事をしている している時、勉強な	る時 〇親しい友人	くと会っている時、	人から感謝	された時 Oス
衣生活観	られるようなもの		を楽しんでいます。 買う馴染みの店もな 着替えます。				
食生活観	『食事』は家族揃っての食事を心がけています、夕食はほぼ家族と一緒。あとは友人と。『食材選び』は高くても美味しいもの、旬の食材、地元の食材を選びます。健康や美容によいときいた食品は積極的に取り入れるほうです。作り手のこだわりを感じるものが好きですね。『料理』を作るのは好きで、週2・3回は料理をします。『お酒』は自宅でほとんど毎日飲んでます。妻と食事をしながら飲むことが多いです。お酒そのものより飲んでいる時間が楽しくて好きです。飲酒はストレス解消になります。でも健康は気になるのでアルコール度数の低いものを選んだり、昔よりは酒量も控えたりしています。						
仕事	『今後』ゆくゆくは今の仕事の経験やスキルを活かして独立、起業したいと思っています。そして働ける限り働きたい。そのために今は、人脈や知見を広げること、スキルを磨くこと、体力づくりなどに取り組んでいます。仕事を続けたい『理由』は、仕事を通じて充実した人生、充実した人間関係を作りたい、そして世の中の役に立ちたいということですね。ひとことでいうと「生涯現役」でしょうか。それに仕事をしないと生活が不規則になりがちで老化も進みそうです。自分の健康のためにも仕事は続けたいと思います。						
家族	にお茶したり行き 役割分担しながら は頼りに感じるこ	来がしやすく、災 やってます。庭の とが多く、私も妻	妻の親が近所に住ん 害などいざという8 手入れやごみだしに から頼りにされてい 者後のこともたまに	寺に助け合えるので は日常茶飯。掃除で いると思います。だ	で良いと思います。 や料理も好きな家事 きまには一緒に外出	『家事』 は §といえます。 §するし、共	その場に応じて 。 『妻』 のこと 通の友達もいま
人付き合い	人がいます。若い人数は男性4人、 「人間関係につい柄が良いです。気 ときは、その話に	頃(20代)に趣味女性が2人、同年代 女性が2人、同年代 いて』の考え方は、 が合う人とだけと よく耳を傾けるよ		た長い付き合いの ちです。 5深い付き合いを望 様々なタイプの人に	友人はその中でも れでいます。 損傷 に接することも大事	大切に感じて なしに学びま ほだと思います	ます。親しい友 がい尊敬できる間 す。人と接する
Nさん (52歳)	は、サービス業	に従事している	ますが、いずれ	独立起業したい	という夢を持っ	っています	。夢実現の

Nさん(52歳)は、サービス業に従事していますが、いずれ独立起業したいという夢を持っています。夢実現のために人脈作りやスキルアップにも積極的に取り組み、生涯現役を目指しています。何事にも一所懸命で前のめりなところもあり、妻は疲れはしないかと心配気味です。その妻との仲も良く、家事はその場に応じて役割を果たしており、料理も週2・3回は行います。食べること、飲むことが好きなので苦になりません。妻との会話も多いほうです。妻とは食事をしながらお酒を一緒に飲むことも多くあります。交友関係では、若い頃に趣味を通じて出会った長い付き合いの仲間を特に大切に思っています。お互いに尊敬し合える深い付き合いを求める一方で、気の会う人だけではなく色々なタイプの人と接することの重要性も感じています。●



(ペルソナシートの続き)

次世代シニア男性・ペルソナシート [幸せ度] (幸せ) まあ幸せ・あまり幸せでない・幸せでない サービス系従事 男性•52歳 正規社員 配偶者有 Nさん ペルソナNo. 性別・年齢 職業 有 1964年生まれ 週5日 1日8時間以上 妻・息子2人 400万円 1年•世帯収入 同居家族構成 850万円 世帯資産 最終学歴 高校 持ち家・一戸建 不動産3千万円 『楽しみを感じて現在、行っていること』 最も大事にしている楽しみは「家族との団欒」です。その他「食べることお酒を飲むこと・買い物・散歩・テレビ視 聴・園芸・読書」などの日常的な楽しみ、「サイクリング・ドライブ・旅行」などのレジャー、「コンサート・映画 館・美術館」へ行っての芸術鑑賞などと「仕事」も楽しみのひとつです。テニス、ゴルフ、スキーなど、以前行ってい て現在はやっていないものが結構あります。また体を動かしたいですね。新たに取り組みたいものも色々あります。 「ダンス」「登山などアウトドア」「陶芸などの創作」そして「ボランティア活動」も始めてみたい。「料理」も楽し 趣味・楽しみ みのひとつとしてもっと上手になりたいです。 『楽しみに求めていること』 家族や人との交流ができること、楽しいだけでなく生きがいを感じること、気分転換できること、自分らしさを感じる こと、健康増進によいこと、新たな人と出会えることなどです。費用があまりかからないとか、一人でできるとか、体 力的に無理がないとか、飽きない要素があることなど、継続するためには必要な要素だと思います。 『健康のことできがかりなこと』 治療中の病気はありませんが、眼の疲れやかすみで見えづらくなったこと、頻尿になったことには年齢を感じます。健 康寿命という言葉も気になり始めています。仕事や人間関係でとにかくストレスがたまります。その解消のためについ アルコールを飲み過ぎてしまいます。 健康 『健康維持・改善のために日ごろ行っていること』 「ウォーキング・筋トレ・ストレッチ」などの運動をしています。「カロリー制限・糖質控えめ・腸内環境によいもの の摂取」など食事への気配りをしています。「サプリメント」もよく利用します。仕事や飲み会でなかなか思うように いきませんが「早寝早起き」を小がけ、「体重計などの数値測定・健康番組などでの情報収集」も行っています。「笑 うことで免疫力を強化」できると言いますが疲れが癒され、それが実感できる気軽な健康法です。 『世帯収入・支出・お金との付き合い方』 収入は勤務先からの給料です。収支は黒字なので満足しています。この1・2年の支出で増えたものは食費、通信費と保 険料の支払い、減ったのは衣料、保健医療です。出来れば増やしたい支出はやはり趣味娯楽費、交際費、自分の小遣い ですね。光熱費、通信費、衣料費は減らしたいと思います。貯蓄は増えました。家電、趣味娯楽は増やしたい支出、水 道光熱費や交際費、ローン返済費は減らしたいと思います。私が何かを買うときは、その余裕があるか必要かをよく考 家計•経済 えて買うほうです。住宅ローンは69歳までありますが教育費負担はあと数年で終わります。資産作りなども計画的に進 めているので世帯資産額の現状には満足しています。 『老後の準備資金について』 だからこれからの人生の準備資金について不安はありません。先輩からの助言を受けて老後の準備については若い頃か ら考えて進めています。100歳まで生きることを想定して必要額を算出してます。今後、特に必要となるのは起業開業 をかんがえているので、その資金です。 『老後について思うこと』 生涯仕事を続けるともりです。挑戦し続けたい自分がいるということです。忙しさから解放されて自由にやりたいとい う意識はあまりありません。高齢でも活躍の場はあるし世の中に貢献するのは高齢者の務めだと思います。そのために は新たな資格の取得やいろいろな学びも必要となります。感動や刺激のある暮らしがしたい。一方で、家族と楽しく暮 らしたいし、友人と過ごす時間も楽しみたいと考えます。新たな人との出会いも公私問わず楽しみです。趣味は多いほ うですが新たに始めたい遊びもあります。すべて体が資本なので、これからのことを考えて健康づくりを心がけたいと 老後観 思います。とはいうものの細かな将来のことはわからないのでとにかく今をがんばり続ける先に明るい老後があると考 えてます。 『終活』 終活について考えたことがあるのは、終の住処探し、捨てられないものの片付け、預金などの財産について家族に知ら

Nさんは、生活を楽しむことが上手なタイプです。お酒、買物、散歩、園芸といった日常の楽しみ、サイクリングやドライブといったレジャー、映画などの芸術鑑賞、仕事など。また、陶芸やボランティアなど、新しいことにもチャレンジしようとしています。自分らしさの確認も趣味や楽しみに求めるもののひとつです。

せておくこと、生前贈与や遺産相続、葬儀の希望の家族への伝達。でも実際には行っていませんね。

健康面ではお酒、カロリー、糖質の摂取量を抑えることを心がけていますがどこまで実行できているかは怪しいところです。家計に目を向けると、息子の教育費負担はあと3年で終わりますが住宅ローンは69歳まで続きます。今後は起業資金も必要となってきますが、世帯資産額400万円の現状には満足しています。者後へ向かっても「挑戦し続けたい自分がいる」。将来の事は楽天的に考え、今を頑張るNさんです。



<楽しみの時層表と年代別世相>

101100100	**************************************		
	1 0代の頃 1 9 7 4年~1 983年	20~30代の頃 1984年~2003年	40~50代の頃 2004年~
ファッションプランド スタイル	アディダス プーマ アシックス リーバイス ボブソン	ニューヨーカー トラッド リーガル ハルタ	チャンピオン(アメリカンカジュアル) アディダス ロト
エンターテインメント	8時だよ全員集合! サザンオールスターズ ザ・ベストテン 映画「ゴジラ」 「ガメラ」 オールナイトニッポン	大橋巨泉 映画「ロッキー」 オレたちひょうきん族	北野武 映画「君の名は」 J-WAVE NHKの健康雑誌
趣味・スポーツ・旅行	サッカー 野球 読書 修学旅行	ゴルフ テニス サッカー 野球 新婚旅行 ダーツ ビリヤード	ウォーキング 温泉旅行(日帰り)
食べ物飲み物・飲食店	焼肉 ラーメン屋 中華屋 コカコーラ	寿司屋 ビール 日本酒 ウィスキー	和食 刺身 酢の物 焼酎 ワイン
街 ショップ・施設	プラモデル店 ボウリング場 デパート	六本木 渋谷 銀座 (独身時代に飲み歩<)	駅のショッピングセンター ディスカウントストア ホームセンター

	10代の頃	20~30代の頃	40~50代の頃		
	1974年~1983年	1984年~2003年	2004年~		
「好き・楽しみ」 関連事象	1969〜1985年 8時だヨ! 全員集合 生放送 1972年 ブーム加熱ボウリング場は全国約3700 1978年 サザンオールスターズ デビュー 1978〜1989年 ザ・ベストテン 生放送 1984年 9年間休止映画「ゴシラ」シリーズ復活 1980年代前半 ガンブラ(ガンダム模型)ブーム		1988年 FMラジオ J-WAVE開局 2010年 北野武映画「アウトレイジ」公開 2013年 和食がユネスコ無形文化遺産に登録 2016年 映画「君の名は」公開 2016年 国内ワイン市場活況、消費数量は10年 間で1.5倍に(キリン・ニュースリリースより)		
社会の出来事	1974年 戦後初のマイナス成長・元日本兵発見 1975年 第1回世界女性会議 1976年 ロッキード事件 田中角栄逮捕 1978年 日中友好条約 1979年 共通一次試験開始 1980年 家庭内暴力 社会問題化 1983年 グリコ森永事件 ロス疑惑	1991年 ソ連崩壊 湾岸戦争勃発 1995年 阪神淡路大震災 オウム事件 1997年 金融破綻 山一證券自主廃業 2001年 9.11同時多発テロ 小泉純一郎内間発足	2005年 耐震偽装 福知山線脱線事故 2007年 消えた年金記線問題 超高齢社会へ 2008年 リーマンショック 2011年 東日本大震災 福島第一原発事故		
流行・話題	1974年 ノストラダムスの大予言 1976年 カップヌードル発売 ボウリングブーム 1977年 カラオケが盛り場に登場 1979年 シャパンアズNo1 ウォークマン発売 1980年 漫才ブーム ウォッシュレット発売 1983年 東京ディズニーランド開園 1983年 NHKおしん視聴率60%起を記録	1986年 男女雇用機会均等法施行 家庭内離婚 1987年 村上春樹 ノルウエーの森 1991年 ジュリアナ東京開業 1996年 携帯電話・PHS普及加速	2004年 韓流ブーム 2008年 Phone発売 映画「おくりびと」 2010年 AKB48ヘビーローテーション 女子会 2013年 アペノミクス 半沢直樹 あまちゃん 2014年 映画「STANDBYMEドラえもん」 2015年 インパウンド市場活性 2016年 国勢調査で初の人口減少 熊本地震		



次にNさんの「楽しみの時層」をみましょう。その下の表は時代の関連事象や、社会の出来事、流行などです。 1964年生れのNさんが5歳の頃に始まり21歳になるまで続いた「8時だよ全員集合!」は最高視聴率50.5(1973年4月)を記録する程の人気番組でした。17歳の頃に始まった裏番組「オレたちひょうきん族」の台頭で笑いの潮目も変わっていきます。出演者の一人だったビートたけしはその後、映画監督・北野武としても才能を発揮、このあたりのエンタメの流れを多くの同世代男性が享受しました。Nさんも、その一人です。高校を卒業し、仕事を始めて5年もすると世の中はバブル景気に踊ります。Nさんが、銀座や六本木で飲み歩いたのはこの頃となります。40歳を過ぎると飲むお酒も焼酎、ワインへと変化しました。健康雑誌、ウォーキング、和食・酢の物など健康に気遣うことをも楽しみ、面白がるNさんの、姿が浮かび上がります。

<Nさんのこれからに思いを馳せる>

Nさんを、モデルにしたとき、この先のどんな人生がえがけるのでしょう。起業を目指している一方で、新しい趣味や遊びにも色々と意欲を示しているNさん。あれもこれもと追いかけるよりもう少し堅実な人生の後半戦を描いたら、と思う人もいるかもしれません・・・・・・・ひとつの結論。Nさんは、大丈夫です。

100歳まで生きる想定で老後の資金も計算しているNさんには企業家としての計画性の高さも伺わせます。 人生の時期を分割してその時期ごとの目標を掲げていくのではないでしょうか。そして好きなこと・やりたいことがいくつもあるということは、老後でも余生でもない、これからの人生を自分らしく切り拓こうという心の躍動を感じさせます。計画と躍動。Nさんの、幸せな人生は続きます。

1. 「楽しみの時層」n=1の世界②次世代シニア・男性 Oさん

⟨ペルソナ・シート(プロフィール)>※調査回答を元に仮想の人物像を創作しました(実在はしません)

※注①調査対象者の在住地域は東京30km圏です。 注②年齢は調査時点の2016年基準としました。

次世代シ	ニア男性・	ペルソナ	シート【幸も	度] (幸せ) ま	あ幸せ・あまり	幸せでない・幸せ	せでない
ペルソナNo.	○ Oさん	性別・年齢	男性・55歳 1961年生まれ	職業	労務系契約社員 週4日・7時間	配偶者有無	有
同居家族構成	妻 持ち家・一戸建	1年•世帯収 入	450万円	世帯資産	2500万円 不動産5千万円	最終学歴	四年制大学
生活満足度		4段階評価→ 満足している(4)・まあ満足している(3)・やや不満である(2)・不満である(1) 健康(4)・家庭 家族(4)・家計 経済状態(3)・人との交流(3)・趣味 楽しみ(4)・仕事(3)					
生活不安度					り不安を感じない(交流(2)・趣味		
幸せを感じる時					でで物がおいしいと になっている事や心		
衣生活観		を買うときは自分 [・] 選び)に付き合うの		るものにはお金を	をかけないタイプで	चं.	
食生活観	ー緒に食べます。 す。健康・美容に て食事を済ませる 『料理』 料理は	『食材選び』 週こ良いと聞いた食品 ることはあまりあり 妻にお任せで、自	2・3日は妻とスー品や料理はよく食のませんが、冷凍分が調理するのは	-パーで買い物を 卓に取り入れます 食品はよく利用に :月に2・3回程度	家族と一緒です。- します。食材は、 「。 『加工食品・ 」 こしています。お です。でも、味に です。でも飲むのは でなでも飲むのは	生産地を見て買う メニュー』出来を そのご飯を一日ー!! ようるさいほうで	ようにしていま いの惣菜を買っ 回は食べます。
仕事	も片方にはありる	ます。 『理由』 は	、日常の生活費を	稼ぐため、老後の	ます。生涯仕事を の生活資金を蓄える ま、仕事を通じて社	るため、高齢にな	るまでは仕事を
家族	るので良いとは見ます。親の場合はれ、ごみだしと、頼りに感じるこのり、共通に仲の見	思ってます。 『介 は施設介護を望みる 週数回、食料品の とが多く、私も妻が もいお友達もいま	護状態になった ります。 『家事』 は の買物に付き合う から頼りにされてい す。会話は多いほ	5』自分自身や妻だほぼすべて妻が、 程度です。ごみたいると思います。 うだと思います。	ろに近居してもら がそうなった場合 めります。私は週 ごしや買物は簡単な 一緒によく外出し 老後のことなど最 親のことが心配で	がは施設介護よりも 1回程度の部屋の なので好きです。 います。共通の趣味 最近話す機会がされ	5在宅介護を望み 掃除、庭の手入 『妻』 のことは まもいくつかあ
人付き合い	2人います。男性 もあまりしません 『 人間関係につ う人や長い付きを	生です。お互い仕事 か。 P いて』 は、出来る 合いの人と気楽に	事に忙しいこともな るだけ多くの人と新 すき合いたいとい	あり、会って話す 現しく付き合いた うのが本音です。	うか。大切に思って のは年2・3回とそ いと思うのですか 人の話によく耳を の機会を得て参加	たんなに多くはあり 、実際は自分に近 を傾けるよう心がに)ません。メール 近い年齢の気が合

Oさん(55歳)は、妻と二人住まい。子どもはいません。健康、家庭、そして趣味の面において充実した生活を送っています。これから先の仕事については65歳までは働き続けたいと考えています。その後のことについては未だ実感できないのが正直のところです。リタイアしたい気持ちもありますが、仕事をやめると社会とのつながりが薄れ、老け込む懸念もあり充実した人生を歩むためには65歳を超えても仕事をしたほうが良いのではと心が揺れているところです。妻との関係は良好で、同じ趣味を楽しんだり買物や旅行を一緒にしたりしています。最近は将来(老後)のことを二人で話す機会もふえてきました。交友関係は広いとはいえません。大学時代からの親しい友人は二人いますがたまに会う程度です。多くの人と接したいと思う反面、気が合う人との気楽な付き合いがあれば良いというのが本音のところです。 ●



(ペルソナシートの続き)

物世界シノニカ田州 、ペリンノナシノ

次世代シニア男性・ペルソナシート [幸せ度] (幸せ) まあ幸せ・あまり幸せでない・幸せでない							
ペルソナNo.	O さん	性別・年齢	男性・55歳 1961年生まれ	職業	労務系契約社員 週4日・7時間	配偶者有無	有
同居家族構成	妻 持ち家・一戸建	1年•世帯収 入	450万円	世帯資産	2500万円 不動産5千万円	最終学歴	四年制大学
趣味・楽しみ	『楽しみを感じて現在、行っていること』 最も大事にしている楽しみは「家族との団欒」です。その他では「テレビを観ること・新聞や雑誌を読むこと」「バレーボール」「サイクリング」「国内旅行」「園芸」「ゲーム」などです。以前は「水泳」「エクササイズ」や「スポーツ観戦もよくやりましたが今はやっていません。 『これからの楽しみ』 現在行っているものを続けたいと思います。 『楽しみに求めていること』 楽しいだけではなく生きがいを感じること、家族や人との交流があること、達成感が得られること、など。都合の良い時間に気軽に飽きずに出来ることが長続きの秘訣です。						
健康	生活をするのには 改善を求められて 年齢のせいか物が 『健康維持・改 「ラジオ体操」	ています。つい食 忘れが多くなって(善のために日ご 「ストレッチや柔!	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	と、太りすぎで体 新しいことをする :』 ング」を週1回以	は、このままでは病 型が変わったこと 3意欲や好奇心が薄 は上行います。「良	も改善を要します。	す。その他では 気になります。
家計•経済	勤務先からの給料 出で増えたものは たい支出、水道が 必要もあります。 先々の暮らしを 『 老後の準備資 預金と株式による えてもなかなかる めました。80代	は食料費、水道光 光熱費、通信費は 私が何かを買う。 重視してお金は使 金について』 る金融資産もあま その通りの実行に 後半まで生きると	収入が支出を上回 熱費、交際費、減 減らしたい支出で ときは、その余裕 いたいと思ってい り満足できるもの は至っていません としていくらお金な	ったのは自家用車す。小遣いも増やがあるか、必要かます。資産がいく ではなく、将来に。年金には頼れなが必要かあまり把げ	世帯収入にはほぼ満ります。 交通費でいたいところですいをよく考えて買いらあるかの情報になかを感じまないと思ったことを握していないのがで、 趣味・娯楽費な	です。今後、趣味が が一方で貯蓄を動きます。今の暮らしまます。今の暮らしまままます。 は妻と共有していまます。準備資金を販きっかけに老後資実態です。今後、	呉楽費は増やし 重点的に増やす しの充実よりは ます。 守める計画を考 資金は意識し始 必要を感じる費
老後観	何でも話せる妻はでいます。人並んと思います。人生ば良いと思います。 「終活」 終活という言葉を	しみたいです。時 と夫婦の時間を存: みの暮らしができ まの後半戦は人生 す。でも多くを望! を聞いたことはあ	分楽しみたいとも ればそれでよいと を謳歌する時期で まず、できるかぎ りますが意味まで	思います。とはい 思うし、人付き合 す。家族との絆を り健康でいられれ は知りませんでし	さもあります。のん え動けるうちは何いも親友と呼べる 深め、やり残した に深め、やり残した はそれが幸せなの た。ただ、最期を しながら学ぶこと	がしらの仕事になる人がいるだけでことについてはたいかもしれませんが 正ことについてはたいかもしれませんが	つき働くつもり で幸せなことだ 成し遂げられれ a。

○さんは、趣味や遊びに貪欲ではありません。むしろ身近な日常生活の中に楽しみを見出し深めるタイプです。 今後も、新たな活動には手を出さず現在の楽しみを、より充実させたいと考えています。ただ、そんな自分をふと見 つめ「最近新しいことをする意欲や好奇心が薄れているのかなあ、老化の証かなあ」と不安になることもあります。 お金との付き合いは堅実派で、今の暮らしの充実よりは先々の暮らしを重視した使い方をしています。金融資産も 同年代刊物以上の全額を蒸えているように見受けられますが満足しておらず。 毎年代刊物以上の全額を蒸えているように見受けられますが満足しておらず。

同年代平均以上の金額を蓄えているように見受けられますが満足しておらず、年金にも頼れない将来を考えるとやや不安を感じています。80代後半まで生きる前提で準備資金を貯める計画を考えようとはするのですが、いくらお金が必要かは把握していないのが現実です。

高齢期を迎えたときの期待は、自由な時間を存分楽しむことです。多くは求めずのんびりと家族の時間を過ごすことがなによりも幸せと感じています。従って、仕事との関わり方も、短時間の仕事選び、収入の大きさよりは社会との関わり重視へと変わっていくだろうと思っています。家族との絆を深め、やり残したこと=やりたかったけどできなかったことを成し遂げる、人生の後半戦をそのような時期と捉えている○さんです。 ●

く楽しみの時層表と年代別世相>

	1 0代の頃	20~30代の頃	40~50代の頃
	1 9 7 1 年~1 9 8 0 年	1981年~2000年	2001年~
ファッションプランド スタイル	アイビールック チノパン ボートハウス	VAN ラコステ クリスチャンディオール	スーツ ユニクロ しまむら
エンターテインメント	オールナイトニッポン	オールナイトニッポン	お笑い
	映画「男はつらいよ・寅さん」	笑っていいとも	ドラマ「相棒」
	映画「スターウォーズ」	映画「インディジョーンズ」	映画「ハリーポッター」
趣味・スポーツ・旅行	野球 テニス 卓球 日帰り旅行	ディスコ スキー 海外旅行	バレーボール ゴルフ 国内旅行
食べ物飲み物・飲食店	マクドナルド	ファミリーレストラン	スターバックス
	ロッテリア	サイゼリヤ	銀だこ
	ミスタードーナツ	居酒屋	ドンキホーテ(食べ物)
街 ショップ・施設	原宿 渋谷 お台場 東京ディズニーランド	新宿 銀座 ドライブイン 幕張メッセ	アウトレットショップ IKEA ユニバーサルスタジオジャパン

	10代の頃 1971年〜1980年	20~30代の頃 1981年~2000年	40~50代の頃 2001年~
「好き・楽しみ」 関連事象	1964年 アイビールックの流行始まる 1969年 映画「男はつらいよ」第1作公開 1971年 マクドナルド1号店開店 1974年 お台場に船の科学館開館 1977年 映画「スターウォーズ」第1作公開 1983年 東京ディズニーランド開園	1986年 海外旅行者数、初めて500万人起に 1987年 映画「私をスキーに連れてって」公開 1989年 墓建新郑心開発の一環で墓建メッセ開業	1998年 ユニクロ都心型1号店開業 2001年 映画「ハリーボッターと賢者の石」公開 2001年 ユニバーサルシャパン開業 2002年 「相棒」連続ドラマシリーズ開始 2013年 スターバックスコーヒー国内干店到達
	1972年 沖縄返還 浅間山荘事件 1973年 ベトナム和平 ウォーターゲート事件 1976年 ロッキード事件 田中角栄速構 1978年 成田空港開港 日中平和友好条約 1979年 共通一次試験開始 イラン革命 1980年 アフガン侵攻 家庭内暴力社会問題に	1987年 バブル景気 外貨準備高世界一 JR民営化 1988年 昭和天皇前御 平成へ ベルリンの壁崩壊 1991年 ソ連崩壊 湾岸戦争勃発 1993年 細川連立内間誕生 1995年 阪神淡路大震災 オウム事件	2001年 9.11同時多発テロ 小泉純一郎内閣発足 2003年 イラク戦争 2007年 消えた年金記線問題 超高齢社会へ 2008年 リーマンショック 2011年 東日本大震災 福島第一原発事故 2013年 高年齢者雇用安定法 2016年 熊本地震 国勢調査で初の人口減少
流行・話題	1973年 セブンイレブン1号店開店 1974年 井上陽水「氷の世界」ヒット 1975年 映画「犬神家の一族」 1979年 ウォークマン発売 インベーダーゲーム	1985年 映画「バックトゥザフューチャー公開 1991年 ドラマ 東京ラブストーリー 放送 1995年 野茂英雄メジャーリーグへ 1997年 ハイブリッド車トヨタブリウス発売	2001年 USJ開業 映画「干と干尋の神隠し」 2004年 六本木ヒルズ開業 韓流ドラマ冬のソナタ 2008年 Phone発売 映画「おくりびと」 2010年 AKB48ベビーローテーション 女子会 2013年 アベノミクス 半沢直樹 あまちゃん 2015年 インバウンド市場活性



次にOさんの「楽しみの時層」をみましょう。1961年生れのOさんが10歳の頃にマクドナルド1号店銀座に開業、同年にミスタードーナツ、翌年にはロッテリアが1号店と、今なお続くファストフードの開業が続きます。

9歳の時に第1作が公開された映画「男はつらいよ」シリーズは第48作まで続き、渥美清の死去によって幕を閉じます。そのときOさんは既に44歳。16歳の頃第1作公開の映画「スターウォーズ」シリーズは断続的に今もシリーズが続いています。21歳となる1982年放送開始「笑っていいとも」は53歳となる2014年まで続きました。そして、41歳となる2002年にレギュラー放送を開始したドラマ「相棒」はseason17となる今日まで続いています。Oさんが、楽しんできたエンタテインメントは、何れも永年にわたり人々に愛されてきた作品が目立ちます。

<Oさんのこれからに思いを馳せる>

Oさんをモデルにしたとき、どんなこの先の人生が描けるのでしょう。

「65歳までは働くつもりだが、その先は実感できない」「交友関係はあまり広くない」「新しいことをする意欲や好奇心が薄れている」そんなNさんの、人生後半戦に不安を感じる人もいるでしょう。 ひとつの結論。Tさんは大丈夫です。

65歳以降の身の振り方はこれから10年かけて模索していけばよいことです。高齢者の雇用環境や制度については最近もいろいろな動きがあるように、この先も変化していくでしょう。雇用延長、定年制度、副業に対する企業の姿勢や規定の変化も現在進行形です。ただし、先のことと思っているとあっという間に時が過ぎるのも事実です。あせらず自分の頭で考え始めればよいことでしょう。「交友関係」は広ければよいものではありません。Oさんには、長い付き合いの信頼できる友人と家族がいます。永く人々に愛され続ける映画やドラマを好むように、人と

の付き合い方も、長い時間をかけて新たな気付きとともに味わいを深めるタイプではないでしょうか。

「自分らしさ」を失わないヒトやコトとの付き合い方が人生を味わい深いものにしていきます。

Oさんの、幸せな人生は続きます。

■結びに

●今回は、次世代シニア男性の調査回答を下にペルソナと時層表を作り二つのモデルケースを見てきました。 仕事観、人付き合い、趣味、蓄え(金融資産)の捉え方などにおいて対照的な二人ですが、家族との良好な関係を うかがわせる点は共通でした。楽しみの時層ではファッションの「トラッド」、エンタメの「お笑い番組・SF映 画」、スポーツの「野球」、街の「渋谷・銀座」を通過している点は共通点が見出せます。 これまで見てきた内容の中から気になる点を取り上げ、外部データや情報で補足することで結びといたします。

【1】金融資産のとらえ方は人それぞれ

- ●Nさんの金融資産は400万円、同様0さんは2500万円でした。先行きのお金の不安を抱えているのは金額の多い0さんでした。収入、家族環境、将来への見通し(仕事や相続・消費など)、人生観など、お金の捉え方は人それぞれです。「人生100年時代、お金はいくら必要か」といった雑誌の特集もよく目にしますが、一般論ではなく自らの人生のありたい形、楽しむ姿をもとに試算する必要があるでしょう。とはいえ50代の蓄えの実態はどの程度なのかも気になるところです。
- ●金融広報中央委員会が実施した「家計の金融行動に関する世論調査(全国・二人以上世帯調査)2017年)」によると50代の金融資産保有額の平均は1113万円、中央値は400万円。うち31.8%の比率で存在する金融資産を保有しない世帯を除く金融資産保有世帯でみると平均は1689万円、中央値は1100万円となります。Nさんは50代全体の中央値、Oさんは同平均の約2.2倍ということになります。以上、参考としてご紹介しました。





【2】時は積み重なり、受けて側の物語もまだまだ続く

●Oさんの楽しみの時層でも取上げた愛され続ける映画情報の詳細を見てみましょう。◇「男はつらいよ」

1969年映画第一作公開から50年となる2019年に第50作として封切られる。 山田洋次監督による同シリーズ22年ぶりの新作制作が2018年9月に発表された。 主演は故・渥美清さん。

◇「スターウォーズ」

2018年に公開され大ヒットした「スターウォーズ 最後のジェダイ」に続き、2019年「スターウォーズ エピソード9(仮称)」の公開が予定されている。
・・その他、「OOフシリーズ」も第25作目が2019年の公開が予定されています。
そして、旧作に触れる機会も動画配信サービスの普及で増えています。自分史と映画シリーズが交差しながら物語はまだまだ続きます。





●次世代シニアとその前後の世代の夫婦・友人同士の観客の姿が目立つ映画があります。 2018年公開の「ボヘミアン・ラプソディ」と「souvenir the movie~MARIYA TAKEUCHI Theater Live~」です。 前者は1970年代80年代に活躍、今なお世界的人気を誇るロックバンド「クィーン」

のボーカルで1991年にこの世を去ったフレディマーキュリーを描いた映画です。 1985年、アフリカ難民救済のために開催されたチャリティコンサート「LIVE AID」の細部にわたる再現と物語に力を得たかのような観客の姿が印象的でした。 後者は1978年デビュー、数々のヒット曲があるのと裏腹にメディアにもほとんど登場せずライブも少ない「竹内まりや」のライブドキュメンタリー映画です。テレビ番組のインタビューに答える観客夫婦の、出会った頃から今日に至る二人の時間と、映画や歌を重ね合わせるかのような語り口と表情は印象的でした。

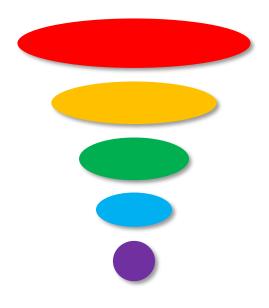
「過去はただふりかえるものではなく未来のためにある」ことを強く感じた瞬間です。





最後までお読みいただき誠にありがとうございました。





次回をお楽しみに。

